

# 足立区地域保健福祉推進協議会

## 第5回地域保健福祉計画策定部会 会議録

開催日時:令和5年9月4日(月)午後3時～午後5時  
開催場所:足立区役所本庁舎南館12階 1205A・B会議室  
開催方法:対面とwebの併用開催

### 1 部会長挨拶

### 2 報告

#### (1)地域福祉に係るアンケートのクロス集計結果について《事務局から報告》

【委員】アンケート結果(分析)の表は、あまり見やすいものではない。もう少し見やすい形に工夫する予定はあるか。

→(事務局)分かりやすい表現となるよう、委託事業者とともに工夫していく。今後作成する報告書は、誰が見てもわかりやすいものとしてまとめていきたい。

【委員】地域包括ケアシステムという視点では、結びつきに注目した分析が必要となる。様々な統計手法を検討いただき、必要に応じて相談してもらいたい。

【委員】17ページの結果を見ると、高齢者のみを対象とする施設以外でも、地域包括支援センターと連携を強めたいという意見が見られる。本来対象ではないところからも声が聞かれるということで、地域包括支援センターのように活発に活動しているネットワークが足立区内には他になく、必要とされていることが結果から読み取れるのではないか。

【委員】どのような事例においてこのような結果が得られたのか、具体的な事例を含め深めていくことが必要ではないか。

【委員】ボランティア団体・NPO 活動団体等の活動内容は多岐に渡り、それぞれ活動が分かれている。どの活動分野からの回答かにより、分析結果も大きく異なるのではないか。

→(事務局)今回のアンケートでは「どこの分野か」までは把握できていない。一方で、質問3の「受けたことがある相談」や「困難事例」では、自由記載により現場の声を記載していただいているため、その部分を類型化して示すことを考えている。

#### (2)地域懇談会実施の途中経過(8月29日:千住柳町住区センター、8月31日:竹の塚障がい福祉館)について《事務局から報告》

【委員】実際に参加したが、人数が少なく寂しく感じた。参加者の活動分野の偏りも大きい。もう少し多様な区民に関心を持ってもらいたいと感じた。高齢者のこと、包括支援センターのことなど、具

体的な事例の話をもっと聞きたかった。

**【委員】**参加者は、皆さん使命感をお持ちの方だと感じた。区内に点で存在する方々を、今後どうつなげていけるかが大切である。地域包括支援センターのオーバーワークの話も聞き、社会福祉協議会の方も非常に頑張ってくれている。そこがもう少しつながるとよいと思う。行政のマッチングなど施策につなげてもらえるとういと感じた。

**【委員】**地域懇談会では、提供していただく情報が非常に多く、貴重なアイデアも色々いただくことができた。今はまだ限られた地区での開催だが、今後こういったことを区内に広げていくための、起爆剤のようなアイデアがあるとよい。

→**【部会長】**この計画を策定して終わりではなく、策定した後も、小地域で集まりやすい日時を設定するなど、継続して場を作っていくことを考えられるとよい。

### 3 議事事項

**(1)第4回計画策定部会での検討事項について《事務局から説明》**

**(2)計画素案:第1章～第3章について《事務局から説明》**

**(3)計画素案:第5章 施策①～⑤の掲載イメージについて《事務局から説明》**

**(4)計画素案:第6章～第7章について《事務局から説明》**

**【委員】**計画素案30ページ:出生数のグラフに誤りがあるため、修正していただきたい。

**【委員】**計画素案32ページ:保護率(生活保護)の単位が「%」となっているが、「‰」の誤りだと思われるため、修正していただきたい。

**【委員】**計画素案9ページ、本計画の名称が「地域保健福祉計画」であることから、「地域福祉」だけでなく、「保健」も意識した書き方にできるとよい。

**【部会長】**第3章:計画書の前半にボリュームのあるデータを示してしまうと、なかなか本文に辿りつかないと聞くこともある。アンケート調査結果の詳細等を含め、データは第7章資料編で示すことも考えてよいのではないか。

**【委員】**第4章に関する説明はなかったが、どのように考えているか。

→**(事務局)**施策の体系のほか、アンケート・地域懇談会等の意見を踏まえ、本計画で何に重点を置くかを示すことを考えている。課題に対し、どのような施策体系で進めていくかを図示する予定である。

**【委員】**第4章は計画の非常に重要な部分となる。早めに内容を示していただきたい。第5章の施策⑤:狭間のニーズに関連して、現在、区役所の窓口でたらい回しにあうといったことが後を絶たない。断らない施策・支援・たらい回しにしない相談体制の整備をお願いしたい。問題は複雑化しており、解決に向け部署の縦割りの壁を乗り越えることが必要である。アウトリーチ、伴走型支援を区ができるようにしてもらいたい。たとえばヤングケアラー、障がい者の高齢化の問題など、どこと繋ぐのがよいか。誰も取り残さない社会を目指すことを、相談支援体制のところにに入れてもらいたい。

施策④：地域福祉の担い手の育成とあるが、漠然としており何を表しているのかが分からないため、きちんとわかるよう明記してもらいたい。

地域共生社会の目的は、支援する人・される人の分けではなく、支援される人が人の支えとなることもある。過去の事例では、災害現場において精神障がいの方が、別の障がいの方を助けたことも聞いた。地域の中で、そうした仕組みを本格的に作っていくことを区として明示してもらいたい。住民の信頼を取り戻すくらいの体制整備を期待する。ぜひ計画に載せてもらいたい。

→(事務局)断らない窓口については、重層的支援体制整備として、令和6年度に組織編成を見直す予定で進めている。行政窓口を委託する考えは持っておらず、引き続き職員が担っていく想定である。地域福祉の担い手については、目次では全体的な項目として記載しているため、個別詳細は第5章で記載していく。

【委員】個人情報の関係があり、分断されるところがあるが、そこは区が一番わかっているところと思われる。地域のつながりを作っていく体制、みんなが寄り添っていけるものを作ってもらいたい。

→(事務局)今回、計画策定過程の一環として、初めて地域懇談会を開催した。これが数年経ち、より小さな圏域で開催できるようになればと考えている。重層的支援に関しては、地域支援会議・地域ケア会議などのように細かな地域で実施し、仕組みづくり・支援体制作りを、時間を要するが進めていきたい。

【委員】今までの取組みでは、何が漏れていってしまうのか。地域づくりを計画にどう落とし込んでいくか。窓口は引き続き行政でというのは重要だが、制度の狭間の問題に対しては、行政機関だけでは対応しきれないこともある。社会福祉協議会等とも連携し、トータルに受け止めていけるとよい。

【委員】この計画が、計画で終わってしまっただけではどうにもならない。また、これだけの人数しか地域懇談会に参加していないのも残念である。まずは、顔が見える関係の地域を作ることが先決であり、そうすることで、この計画も生きてくる。

【部会長】進行管理が第6章に入るとのことだが、第1章～第3章にも重複する内容がある。そこは整理していただきたい。

## 4 意見交換・その他

### (1) 質疑応答・意見交換

【委員】第5章では、すでに取り組みされている事業が網羅されるということか。計画期間が6年ということで、その間に変わってしまうのではないかという思いがある。地域懇談会は今後も開催するという話があったが、それはどこかに書かれていくのか。この計画書は、例えば障がい者のしおりを見るようなイメージで、困った際にこの計画書を開くと、相談先が分かるようになっているというものか。

→(事務局)障がい者のしおりのようなものは想定していない。地域保健福祉に係る個別計画の上位計画、バイブルのようなものである。地域懇談会は、今後の計画改定のタイミングでは必ず取り組んでいく。開催する圏域も、今後検討していきたい。

→【部会長】総合相談支援窓口をしっかりとさせること、どこに相談するかを明確にすることも考えてよいのではないかと。

**【委員】**ページの中に二次元コードを掲載できると、調べやすくなるのではないか。ページのボリュームを増やさずにできることとして、検討していただける余地はあるか。

→**（事務局）**紙面のスペースを含め、ご意見を念頭に入れながら作業を進めていく。

**【委員】**完成した計画書は全区民に配られるものなのか、又は福祉事務所等に行った際にもらえるものなのか。また、第7章の用語説明は、計画書に出てきたものが掲載されるということか。

→**（事務局）**計画書は令和6年度に製本予定であり、地域保健福祉推進協議会委員には配付するが、全区民に配付する予定はない。区ホームページには計画書データを掲載し、印刷・製本の部数は500部程度を考えている。用語説明は、各用語の下に説明を記載する予定であり、計画書に出てこない用語であっても、必要なものは掲載していく。

→**【部会長】**計画冊子とは別に、概要版を作成することもある。その辺も検討いただけるとよい。用語説明は、その言葉が出てきたページの下部に掲載することもある。どうするのが見やすいか、今後皆さまからもご意見をいただきたい。

**【委員】**この計画ができた後、私たちがそれをどう活かしていくかが大切になる。男女共同参画行動計画では、概要版を作っていた。内容としては大事なところのみが書いてあり、NPOの活動が計画に基づいていることが説明されている。概要版はできるだけ多くの部数を刷っていただけるとありがたい。

**【委員】**計画がまとまったのちに、説明会を開催する予定はあるか。

→**（事務局）**報告・共有を含め、地域に入っていくべきだと考えているが、方法等は現時点では白紙である。

**【委員】**計画の進行管理について、どういうところで評価していくのか。

→**（事務局）**この部会は策定部会であり、策定をもって活動終了となる。計画の見直し等の際にどうするかは、方法を含め計画書の中に示していく。今後新たに地域保健福祉推進協外界の専門部会として設けるかなど、相談させてもらいながら決めていきたい。

→**【部会長】**他自治体では、推進委員会・進行管理委員会などを立ち上げ、年に数回の状況報告を行った上で、意見をいただくことが多い。そのようなことも考えていただけるとよい。

**【委員】**用語説明は、該当する用語が出てきた際に、どこかに説明が記載されていることがわかる表現があると分かりやすい。第5章の施策②で「児童虐待」が触れられていないのは気になった。「子ども・子育て支援」に含まれるものと思うが、別出ししてもよいのではないか。

→**【部会長】**内容の再掲なのか、詳細は分野別計画なのかの整理が必要になる。地域福祉の観点からも、掲載が必要なものについては、今後ご意見いただきたい。

→**（事務局）**虐待に関しては、施策①の「権利擁護の推進・虐待防止」で、児童・高齢者・障がい者の虐待防止の取組み掲載を予定している。第5章の計画素案ができた際に確認いただき、ご意見を頂戴したい。

**【委員】**人と人がどのようにつながるか、その上でいろいろなことを解決していくことが大事である。保

護者同士でも、今はなかなかつながりを持っていない。相談があっても問題が解決しない現状がある。そういうところが希薄化していると感じている。町会・自治会の構成員の減少も問題だと思う。その中で、どのように地域を活性化させ、つながりを作っていくか。そこを解決するのが何かといった視点も必要なのではないか。

**【委員】**健康づくり推進委員は区内に多くいるが、委員がこの計画とどのように関わるかが見えてこない  
ので、教えていただきたい。

→**【委員】**健康づくり推進委員には、健康あだち21の二次評価、第三次の計画づくりに関わって  
いただいている。そのエッセンスをこちらの計画にも盛り込んでいく。詳細は担当課から  
追って説明させていただく。

**【委員】**福祉の色が強い計画ではあるが、健康の面からも、その可能性を膨らませるような記載があっ  
てもよいのではと感じている。

**【委員】**アンケートで、「その他一般区民」の回答が60件あるが、それはクロス集計にどのような形で含  
まれているのか。

→**（事務局：委託事業者）**一般区民の回答60件は、クロス集計を行うには回答数が少ないこと  
から含まれていない。数が少ないと集計結果の偏りが大きくなり、参考となる数字が示  
せないことから、単純集計のみを行った。

## **(2)今後のスケジュールについて《事務局から説明》**

今後の計画策定部会スケジュールやパブリックコメント実施時期を確認

## **(3)事務連絡《事務局から説明》**

ア お示した計画素案への意見書提出(郵送)

イ 次回第6回策定部会は書面開催で、開催日の10月23日(月)に発送予定

**午後5時 閉会**